

2024 年度 人科図書室の利用に関するアンケート

集計結果報告

1. 調査概要

調査目的：

人間科学研究科図書室の利用状況の把握と、図書室をより利用しやすい環境に整えるための意見収集。

調査時期：

2024 年 12 月 23 日～2025 年 1 月 31 日

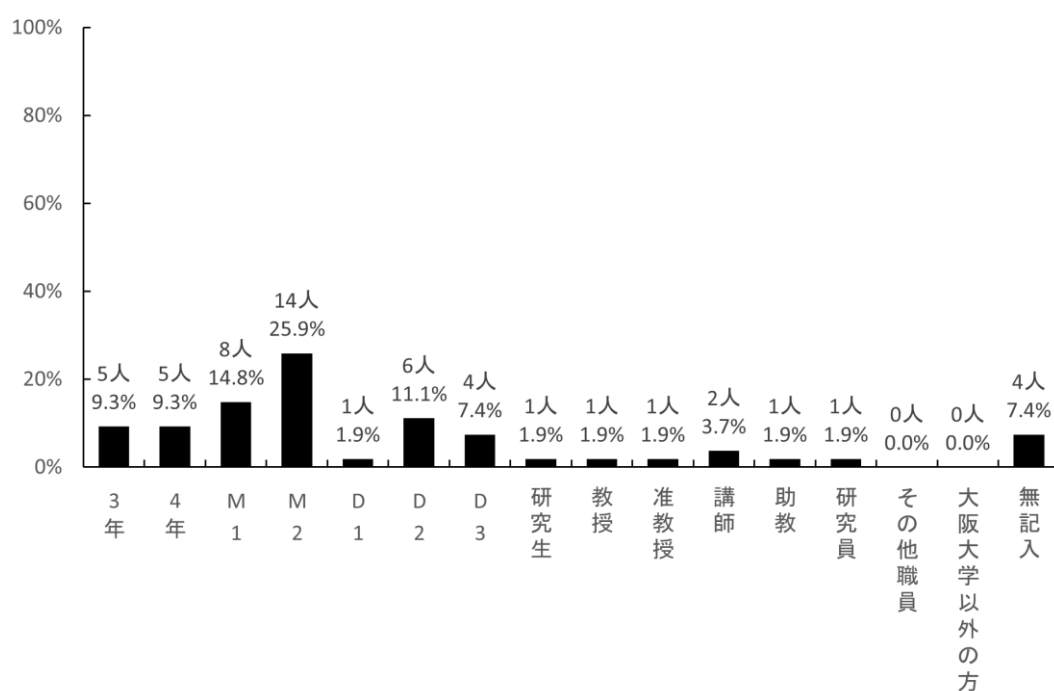
調査方法：

人間科学研究科図書室に来室した利用者にアンケート用紙を配布し、回答済の用紙を図書室に設置したアンケート回収箱に投函するように依頼した。

回収数：54（昨年度回収数：80）

2. 結果

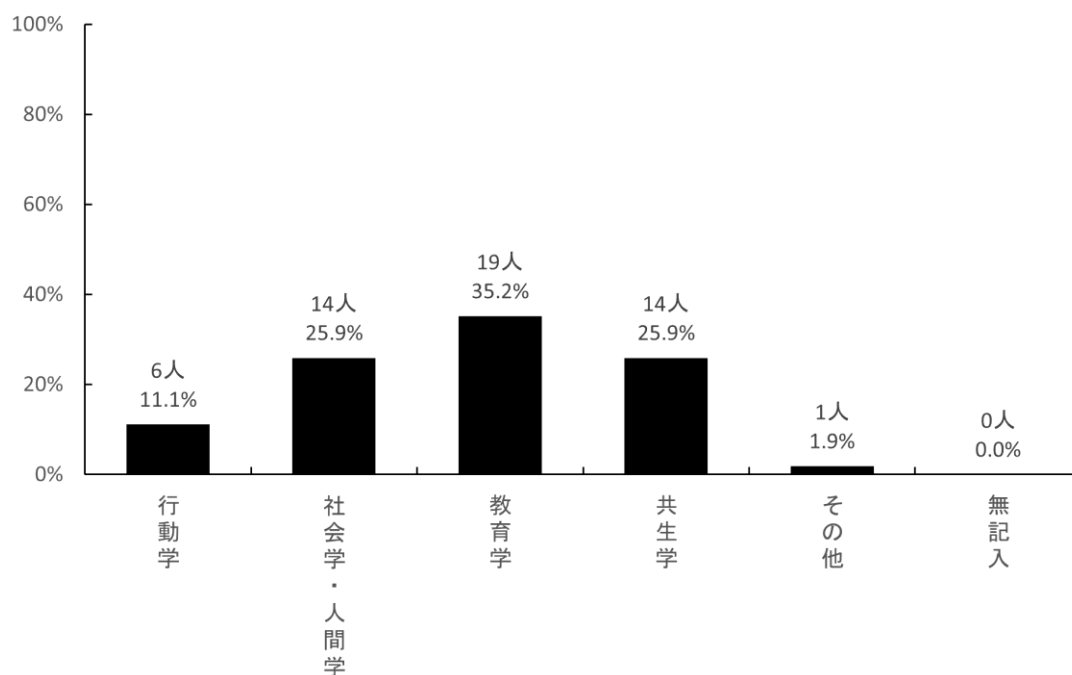
① 回答者の身分



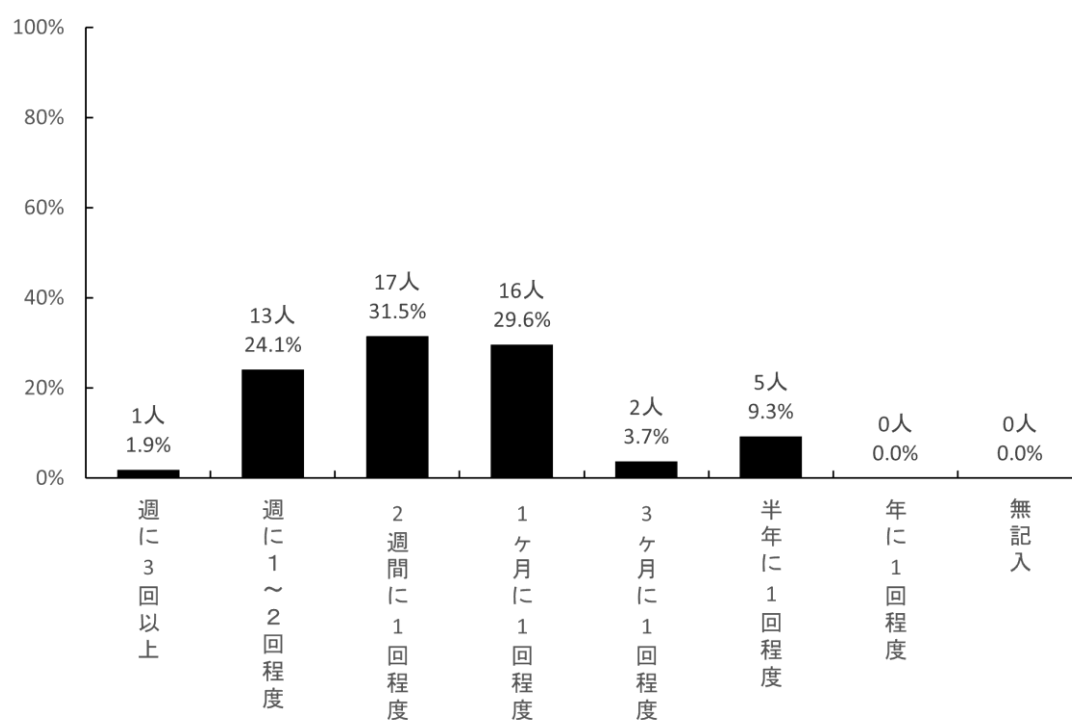
学部生は10人（昨年度：19人）、大学院生・研究生は34人（昨年度：52人）、教員・研究員・その他職員は6人（昨年度：3人）と、対象者を図書館利用者に絞ったことと、昨年度より配布時期が遅れたため、回収数が昨年度より少し減少した。

また、図書室利用者54人のうち、18.6%（10人）が学部生、63%（34人）が大学院生・研究生であった。

② 回答者の所属学系

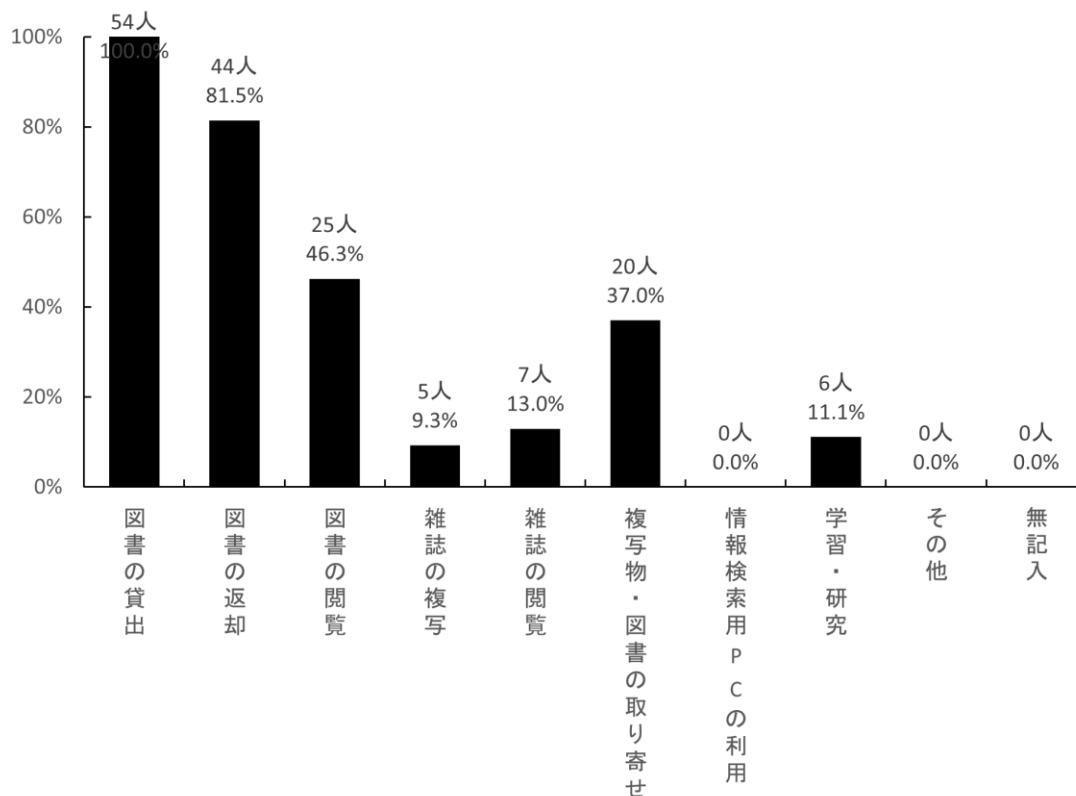


③ 人科図書室の利用頻度



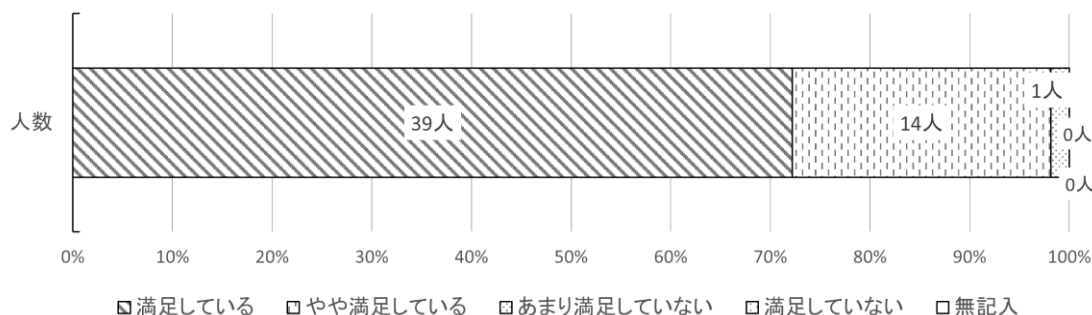
図書室利用者の中で「2週間に1回程度」利用する者が最も多く31.5%で、昨年度より利用頻度が減少した。(昨年度は「週に1～2回程度」利用する者が27.5%で最も多かった。)

④ 人科図書室の利用の目的は何ですか。当てはまる番号全てに○をつけて下さい。



図書室の利用目的として図書の貸出、返却、閲覧と回答した者が過半数であった。「複写物・図書の取り寄せ」目的での利用が回答者全体の37%で昨年度(30%)より上昇したのに対し、「学習・研究」目的での利用が11.1%と昨年度(21.3%)から減少した。

⑤ 全般的な人科図書室の満足度



「満足している」と「やや満足している」と回答した者は、全体の98.1%であった。また、「満足している=4、やや満足している=3、あまり満足していない=2、満足していない=1」とした

ときの平均値は 3.7（昨年度：3.68）であり、昨年度よりもやや上昇した。

※H27 年度までの報告書に掲載した満足度の計算では、値を反転していない（満足＝1、やや満足＝2、あまり満足していない＝3、満足していない＝4）。そのため、値が低いほど満足度が高いことを示していた。H28 年度より第 3 期中期目標計画期間に入ることと、数値の理解しやすさを考慮して、H28 年度以降は満足度の計算では値を反転することとする。